

レシップホールディングス株式会社(証券コード:7213)

2014年3月期第2四半期 決算説明資料

	2014年3月期 第2Q実績と通期見通し	P 2- 12
	中期経営計画の進捗	P 13- 18
	TMSと海外展開	P 19- 31
	補足	P 32- 34

1. 2014年3月期 第2Q実績と通期見通し

2014年3月期 第2Q実績と通期見通し

連結P/L 前年対比

【第2Q 前年対比】

- ① 売上面では、主力の輸送機器事業で増収も、S&D事業や産業機器事業で減収。
- ② 利益面では、主に輸送機器向けの新製品開発や、海外事業展開の先行投資が増加し赤字幅拡大。

【第2Q 予想対比】

- ① 売上面では、輸送機器事業の主に国内案件で下期へ月ズレ、S&D事業でLED電源の減収。
- ② 利益面では、売上の下期への月ズレにより利益減。先行投資は、期初よりほぼ折り込み済み。

【通期予想】

- ・当初予想に変更なしも、主に人的な先行投資が当初見込みを上回る見通し

【単位:百万円】	13年3月期 第2Q実績	14年3月期 第2Q実績	前期比		14年3月期 第2Q予想	予想比		14年3月期 通期予想
			増減額	率		増減額	率	
売上高	5,308	5,152	-156	-2.9%	5,600	-448	-8.0%	5,600
売上原価	4,353	4,188	-164	-3.8%				
売上総利益	955	963	+8	+0.9%				
販売管理費	1,296	1,499	+153	+11.8%				
営業利益	-341	-486	-144	—	-435	-51	—	380
経常利益	-347	-475	-128	—	-430	-45	—	400
当期純利益	-265	-358	-98	—	-290	-68	—	230
為替レート(USD)	79.0円	98.8円	+19.9円	+25.2%	95.0円	+11.7円	+14.8%	95.0円
為替レート(元)	12.6円	16.0円	+3.4円	+27.2%	15.0円	+1.8円	+14.5%	15.0円 ₃

年間見通し

【売上面】

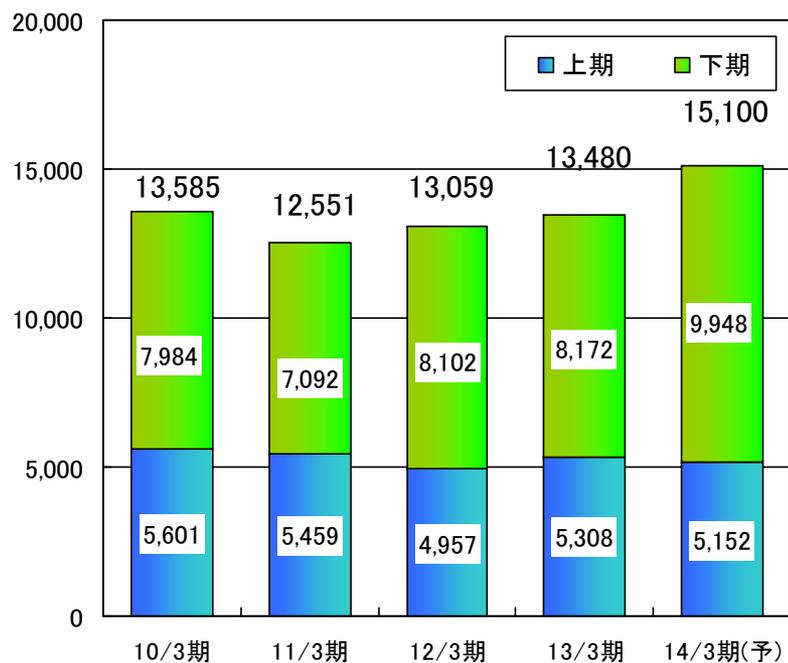
- ① 3期連続の増収見通し
- ② 輸送機器、特に海外バス市場向け製品で増収見通し

【利益面】

主に輸送機器向けの新製品開発や、海外事業展開の先行投資の増加により減益見通し

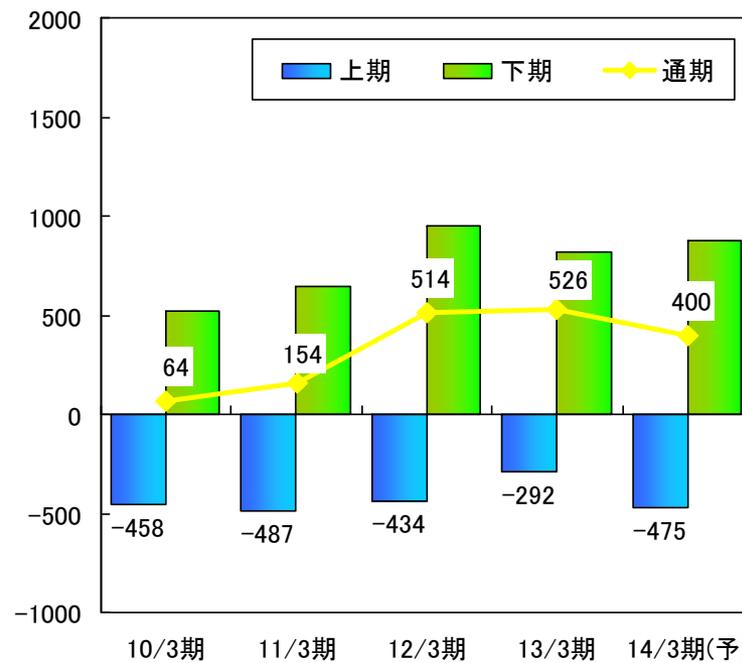
売上高の推移

(単位:百万円)



経常利益の推移

(単位:百万円)



2014年3月期 第2Q実績と通期見通し

セグメント別実績 輸送機器事業

■ 売上高 : 前期比 + 73百万円

■ 営業利益 : 前期比 ▲ 93百万円

【売上面】

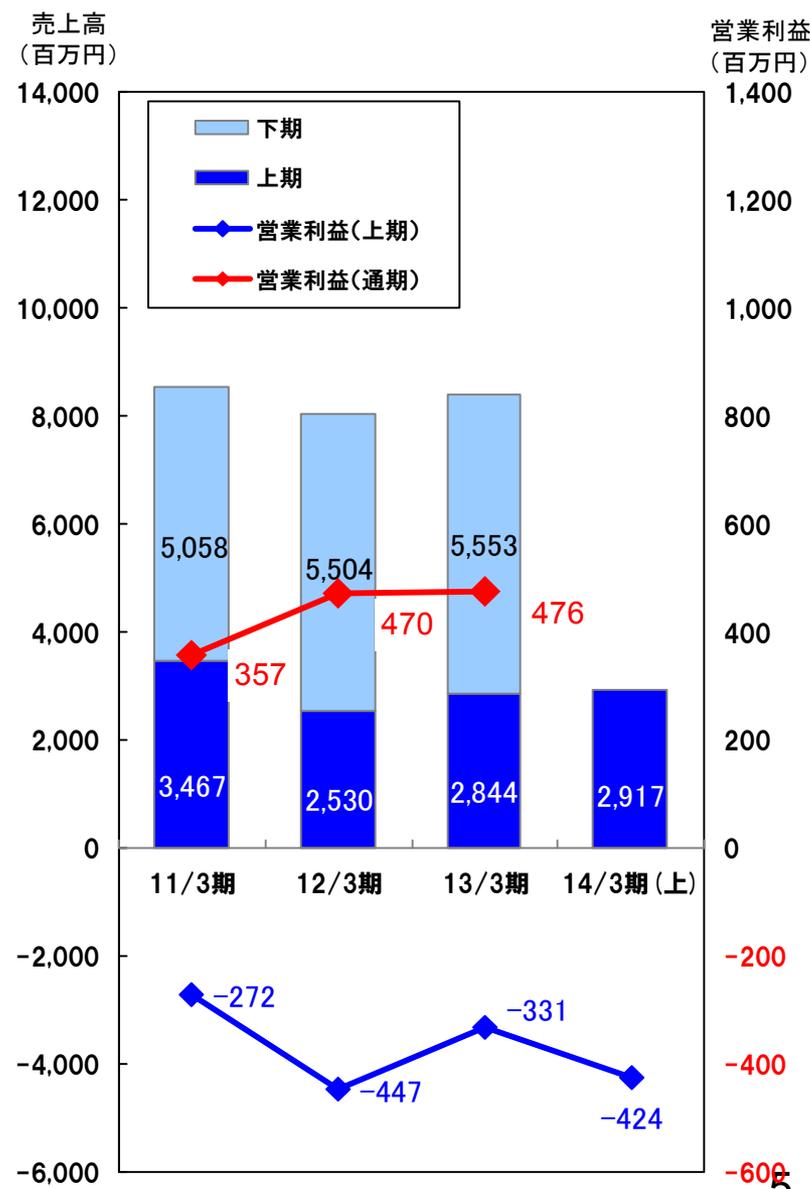
バス市場	1,937百万円	→	2,045百万円(+107)
鉄道市場	535百万円	→	443百万円(▲92)
自動車市場	370百万円	→	428百万円(+57)

(バス)

- ・主に国内案件が増収に寄与
- ・下期より、米国、シンガポール案件の計上を見込む

【利益面】

- ①国内外のAFC、TMS案件の試作、
- ②海外事業の推進に向けた体制構築、
の先行投資により減益



2014年3月期 第2Q実績と通期見通し

セグメント別実績 S&D事業

■ 売上高 : 前期比 ▲ 97百万円

■ 営業利益 : 前期比 + 22百万円

【売上面】

LED製品	268百万円	→	140百万円(▲128)
特殊変圧器	280百万円	→	311百万円(+31)

※ LED製品 = LED電源 + 蛍光灯型LED

(LED製品)

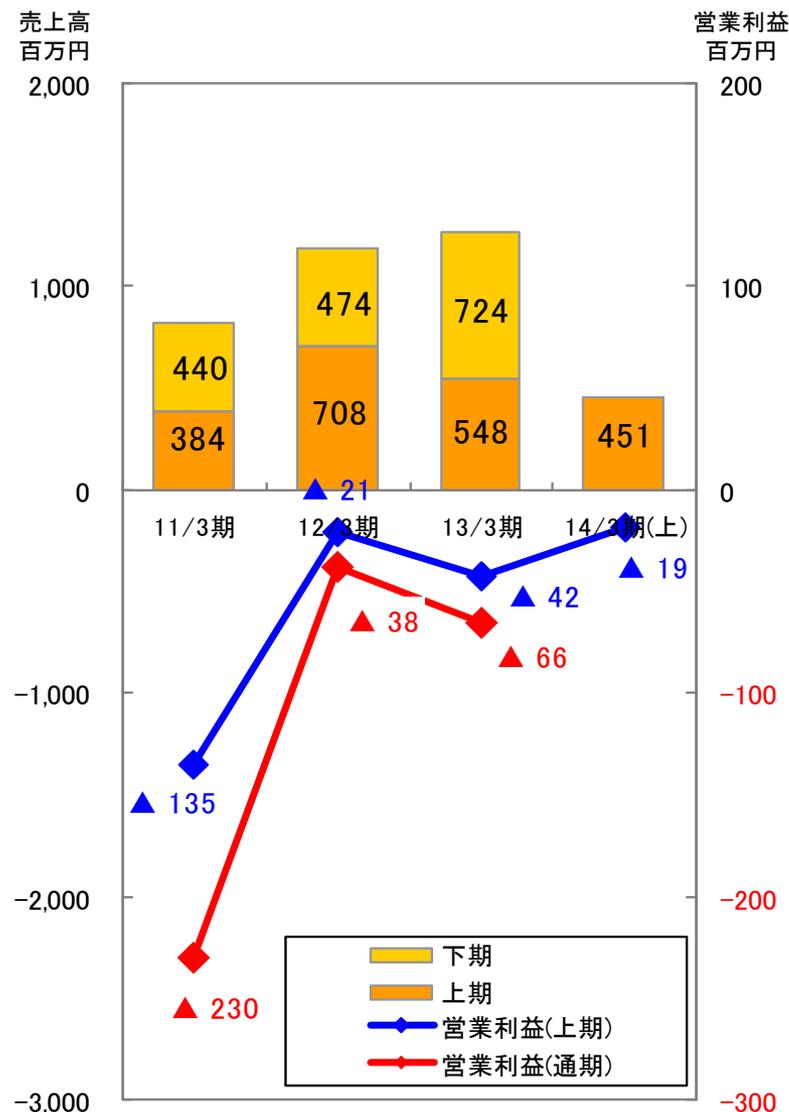
販売方針の変更により、採算の厳しい一般照明市場から特殊市場へターゲットを変更

(特殊変圧器)

高いシェアをベースに、安定的な収益を見込む

【利益面】

LED製品の販売方針変更により、赤字圧縮



2014年3月期 第2Q実績と通期見通し

セグメント別実績 産業機器事業

■ 売上高 : 前期比 ▲ 132百万円

■ 営業利益 : 前期比 ▲ 70百万円

【売上面】

プリント基板	958百万円	→	767百万円(▲191)
その他	935百万円	→	993百万円(+58)

(プリント基板)

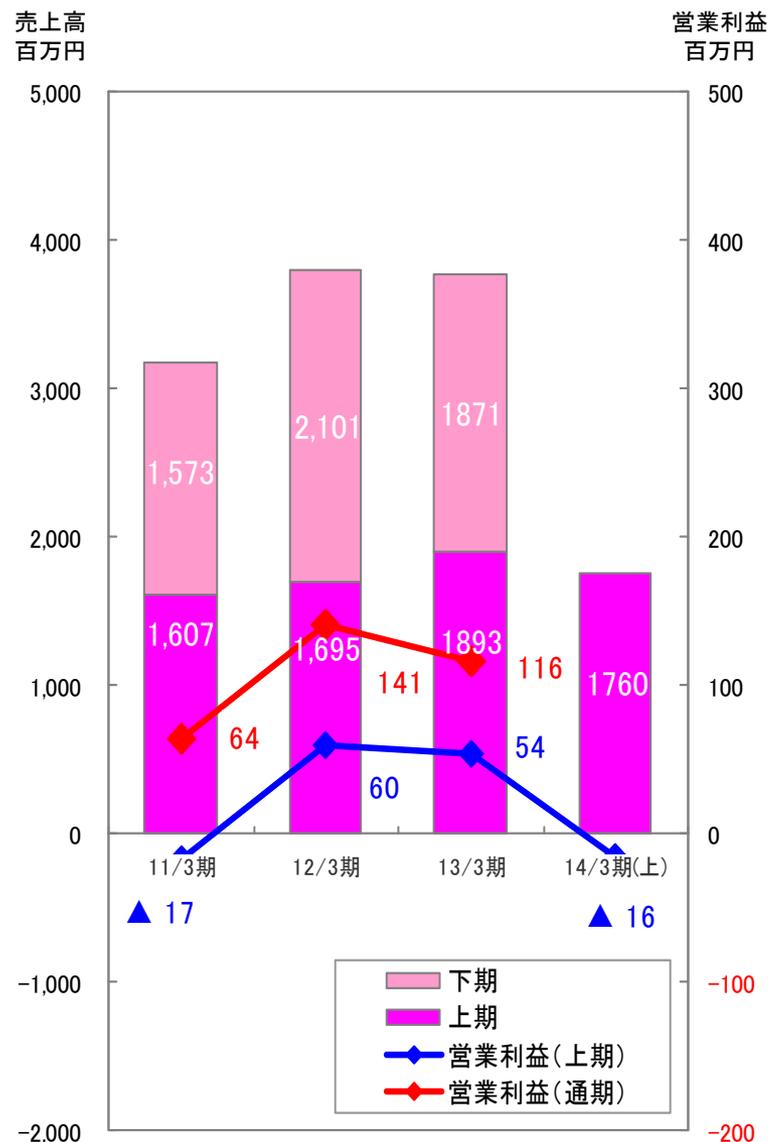
中国FA市場の減退により、産機向けインバータ基板が減収
自動車電装品向け基板もエコカー補助金終了による反動減

(その他)

物販IC読み取り端末の増加により増収

【利益面】

プリント基板の減収の影響に加え、為替の円安によるコストUP

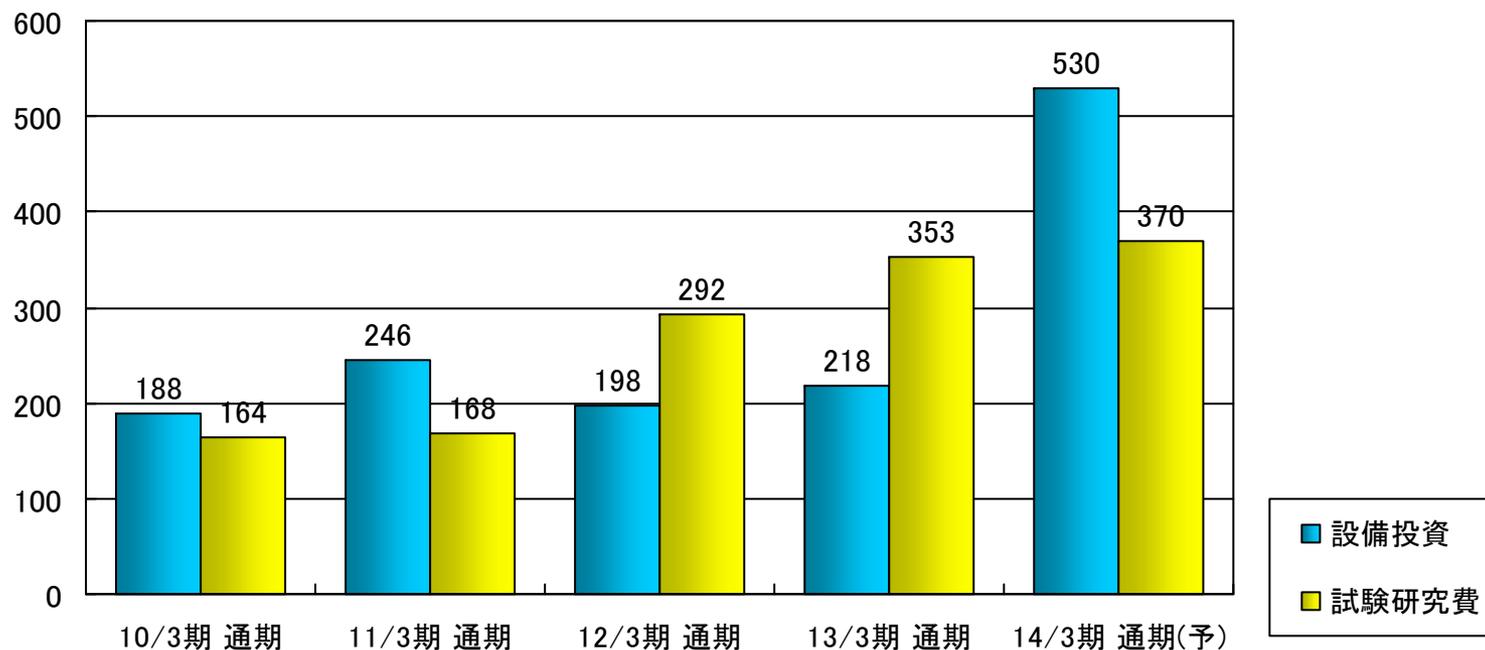


設備投資、試験研究費

【設備投資】 国内外AFC(Automated Fare Collection System)及び、LED灯具の金型投資、北米AFCの製造ライン構築費、TMS・AFCのソフトウェア費、等に充当

【試験研究費】 米国向けAFC、国内外TMS(Transit Management System)、LED灯具の研究開発費、等に充当

(単位:百万円)



2014年3月期 第2Q実績と通期見通し

連結P／L明細

	2013年3月期 第2Q		2014年3月期 第2Q		差異	増減要因
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	5,308	100.0	5,152	100.0	-156	
売上原価	4,353	82.0	4,188	81.3	-164	
売上総利益	955	18.0	963	18.7	+8	
販売管理費	1,296	24.4	1,449	28.1	+153	人件費 +88、事務用経費 +54 交通費 +29、
営業利益	-341	-6.4	-486	-9.4	-144	
営業外収益	12	0.2	14	0.3	+2	為替差益 +5
営業外費用	18	0.3	4	0.1	-14	為替差損 -7
経常利益	-347	-6.5	-475	-9.2	-128	
特別利益	0	0.0	0	0.0	±0	
特別損失	1	0.0	4	0.1	+2	
税引前利益	-349	-6.6	-440	-9.3	-91	
税金費用	-83	-1.6	-119	-2.3	-35	
当期純利益	-265	-5.0	-358	-7.0	-93	

連結B/S明細

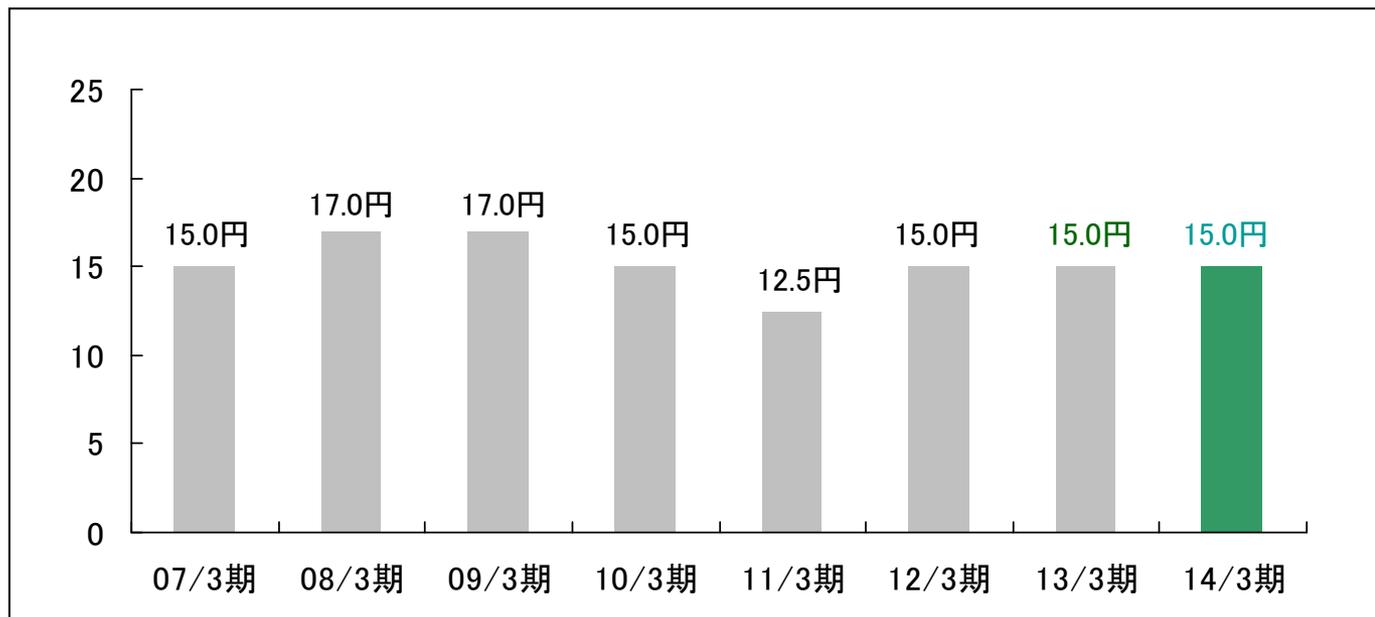
	2013年3月末		2013年9月末		増減額	増減要因
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	7,628	77.9	6,918	69.1	-709	受取手形及び売掛金 -1,640 棚卸資産 +797
固定資産	2,163	22.1	3,094	30.9	+931	有形固定資産 +125、 無形固定資産 +816(内、のれん +754)、 投資その他の資産 -10
資産合計	9,791	100.0	10,013	100.0	+221	
流動負債	4,607	47.1	5,082	50.8	+474	支払手形及び買掛金 -64、 短期借入金 +535、 1年以内返済予定の長期借入金 -98
固定負債	428	4.4	603	6.0	+175	長期借入金 +60、
負債合計	5,035	51.4	5,685	56.8	+650	
純資産合計	4,755	48.6	4,327	43.2	-428	利益剰余金 -447
負債・純資産合計	9,791	100.0	10,013	100.0	+221	

2013年4月～現在までの主な出来事

- 2013.04.01 名古屋市交通局様より、バスロケーションシステムを受注
- 2013.05.10 中期経営計画「+1=2015」(2013～2015年度)を発表
- 2013.06.20 執行役員制度及び業績連動型株式報酬制度を導入
- 2013.06.25 シンガポール陸上交通局(LTA)様からバス運行管理システム受注を発表
- 2013.07.18 2016年3月までにPLM(製品ライフサイクル管理)を導入することを発表
- 2013.08.22 スウェーデンのArcontia International AB社の100%株式を取得
- 2013.09.25 株式の立会外分売を実施
- 2013.10.01 タイにLECIP THAI Co.,Ltdを設立
- 2013.10.06 シンガポールにてレシップグループ・グローバル会議を開催
- 2013.10.07 国際的な公共交通関連製品の展示会であるSITCE2013に出展
- 2013.10.15 当社株式が貸借銘柄に選定

株主数、配当方針

- ・13年9月末の株主数は前年同期比 + 2,612名の8,212名(13年3月末比 +2,143名)
- ・14/3期の予想配当は、当初見通しのおお、15円00銭を予定



2. 中期経営計画 +1=2015(プラスワン2015)の進捗

中期経営計画+1=2015(プラスワン2015)の進捗

中期3カ年の目標

タイトル:+1=2015(プラスワン2015)

AFC・TMS・SLPの融合によるプラスワンの新しい価値をお客様に提供する戦略商品・システムの創造

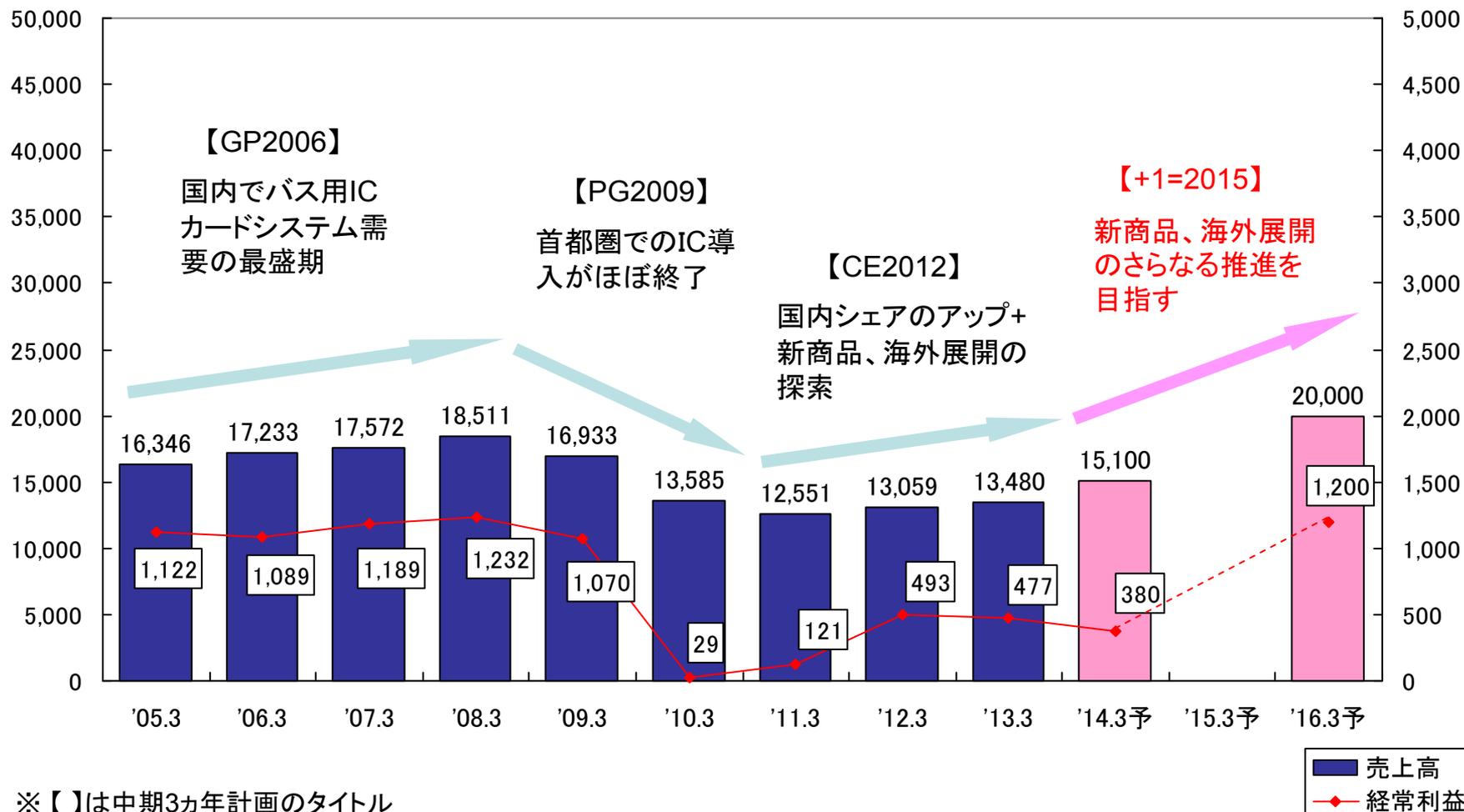
	16/3期	(参考)13/3月期	
数値目標	売上高	200億円	135億円
	経常利益	12億円	5.3億円
	海外売上比率	20.0%	3.0%
前提条件	為替(対ドル)	95円/ドル	83円/ドル
	為替(対元)	15円/元	13.5円/元

中期経営計画+1=2015(プラスワン2015)の進捗

過去の業績推移

売上高(百万円)

経常利益(百万円)



※【】は中期3カ年計画のタイトル

中期経営計画+1=2015(プラスワン2015)の進捗

(ご参考)国内シェア実績

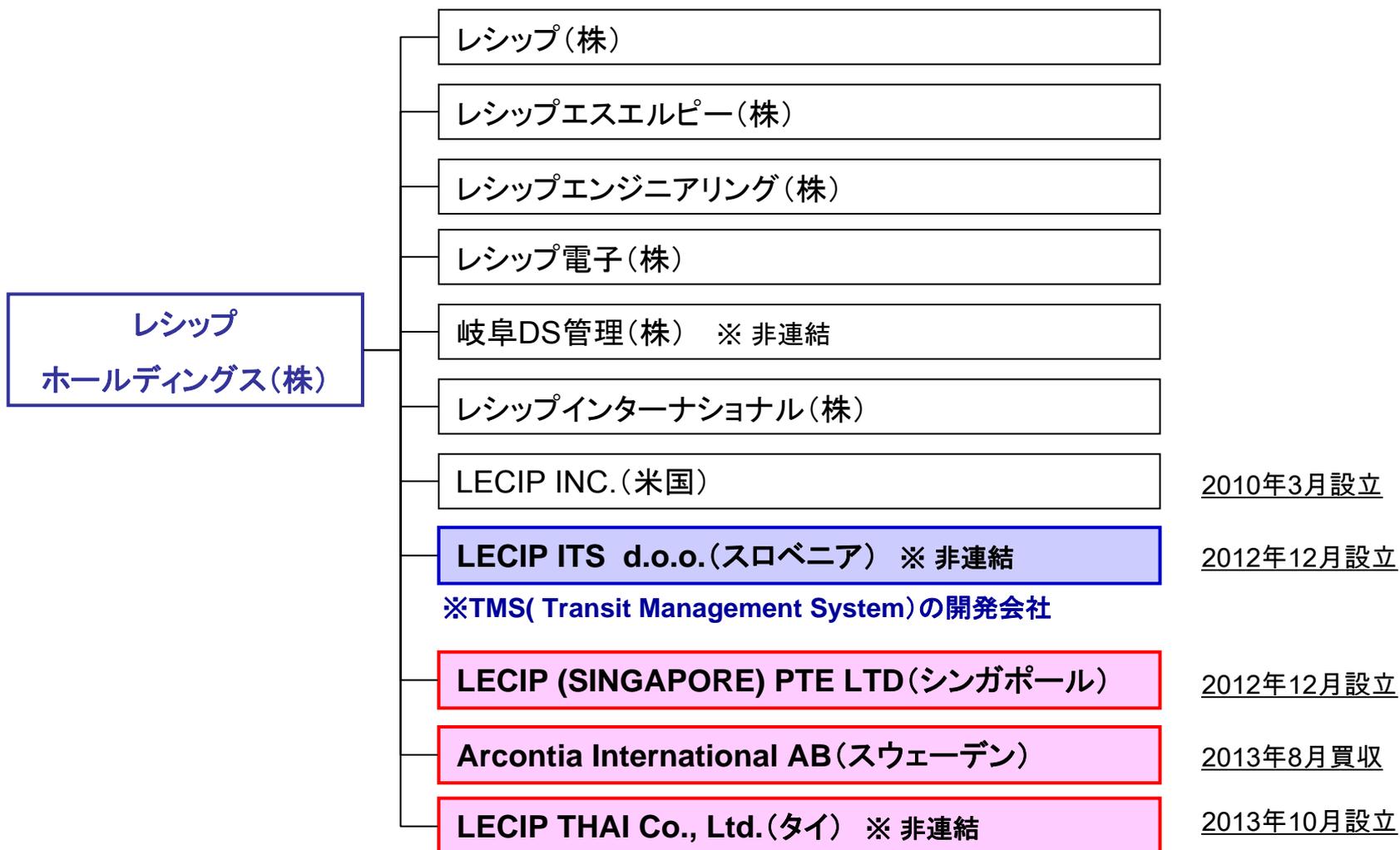
国内主要商品は、前期までに概ねシェアアップに成功

= さらなるグループの成長のためには、新しい製品、新しい市場(海外)へのチャレンジが必要

		10/3期 期末	11/3期 期末	12/3期 期末	13/3期 期末	14/3期 第2Q
バス	(バス用)運賃箱	48.9%	50.6%	51.0%	51.9%	52.0%
	ICカードシステム	52.2%	55.8%	56.2%	57.4%	57.7%
	液晶表示器	69.9%	71.1%	74.1%	73.1%	72.6%
	LED行先表示器	42.3%	40.8%	41.6%	41.4%	41.4%
鉄道	(鉄道用)運賃箱	91.3%	91.0%	91.0%	91.2%	91.2%
	(鉄道用)車両用蛍光灯具	34.8%	32.3%	34.8%	29.1%	未調査
自動車	トラック用蛍光灯具	83.9%	85.9%	84.8%	85.0%	未調査
S&D	巻線式ネオン変圧器	65.0%	76.0%	79.1%	90.1%	未調査
産業機器	バッテリー式フォークリフト用充電器	59.5%	55.2%	56.3%	57.4%	未調査

組織体制

'12/12 - '13/11の1年間で、新製品開発及び海外ビジネスの推進に向けた体制を整備

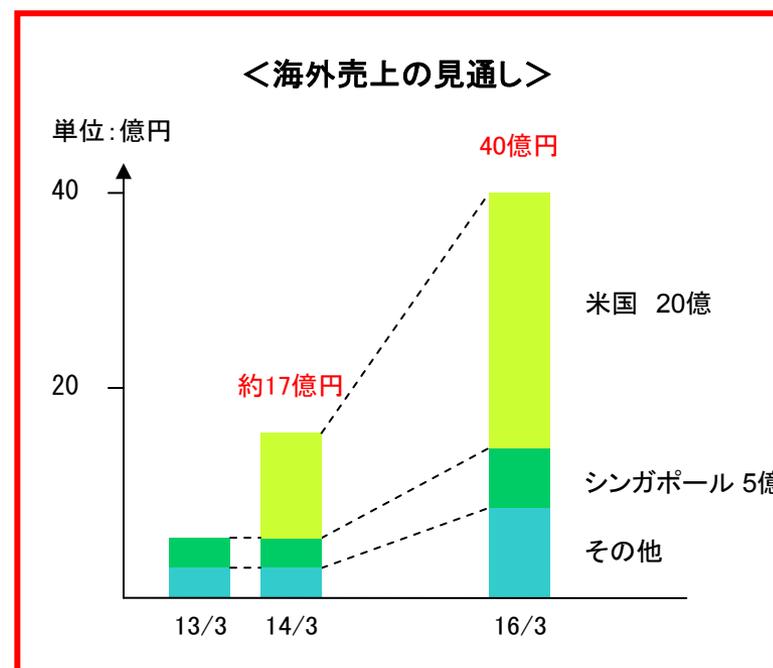
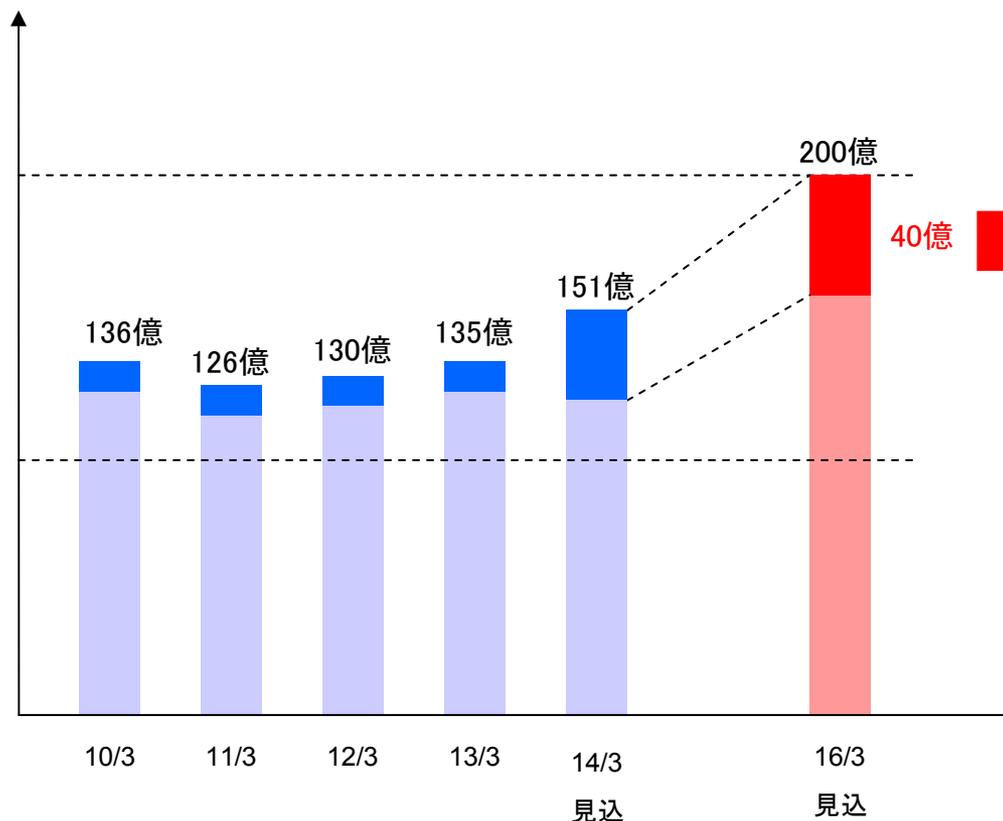


中期経営計画+1=2015(プラスワン2015)の進捗

海外売上目標

子会社のある米国・シンガポールを中心に、海外売上高40億円(海外売上比率 20%)を目指す

売上高(億円)



3. TMSと海外展開

1. TMS (Transit Management System)

2. 海外展開

LECIPのTMS(Transit Management System) イメージ図

—無線LANとcloudサーバを活用した、リアルタイムな情報伝達と経営データの蓄積—



TMS – バスロケーションシステム



< GPS機能を活用したバスの位置情報管理 >

LECIPでは、GPSによる位置情報を基に、停留所へバスの到着時刻を表示することと併せ、携帯電話などで運行情報を検索できるバスロケーションシステムを2年前に上市済み。

今期、中部地区において納入予定



時刻表どおりの運行が徹底されている国内以上に、新興国向けの需要が期待される

TMS – 乗務員支援システム



< 位置情報と車載ソフトの連動による乗務員支援 >



乗務員支援システム
(イメージ)

今期下期より上市

関西地区の事業者様へ納入予定

	主な機能
運行状況の表示	停留所の発車時刻や、発車予定時刻との差などを表示。時刻表より早く発車すると警告音になる
注意喚起の表示	ルート間違いが起きやすい箇所や通学路などの危険地点を登録しておく、地点に接近した際に液晶画面に注意を促すポップアップが表示される
運行データの蓄積	どのバスが何時にどのルートを走ったかなどの運行実績を記録できる。ダイヤや路線の見直しに活用可能 23



< データロガーによる運行データの収集 >

- ・速度、時間、距離(法定3要素)
- ・急ブレーキ、急発進、急ハンドル
- ・アイドリングストップ
- ・燃費
- ・右・左折
- ・ヘッドライトOn
- ・扉開閉、など

→これらのデータを乗務員教育や車両管理に活用

今期、シンガポールへ導入予定

業務日報例(イメージ)

福岡営業所 業務日報 車種: 111/01/1714

運行日付: 2013/07/18 08:00 - 18:07 07/17 1343 430442.5km 運行管理

指示書: 11 07/18 18:28 433015.5km

車種: 11 線路時間: 2045

乗務員名: 143 (0000044) 走行距離: 170.1km

非乗務員: (0000044) 走行距離: 170.1km

あなたは、安全運転評価において、下記の成績となりました。今後は、乗務者の指摘をよく守り、安全運転に努めて下さい。

項目	最高速度		急発進		急ハンドル		急ブレーキ		アイドリング		得点
	回数	時間	回数	時間	回数	時間	回数	時間	回数	時間	
最大値	55	0	-	-	-	-	311	0	0:00	0:00	0:00
通知回数	-	-	0	0:00	1	1	1	0:00	0	0:00	0:00
安全運転評価	0	0	0	0	1	1	1	-	0	0	-
安全運転評価	-	-	-	-	0	0	1	1	1	1	-

安全運転

経済運転

区間	4区間		3区間		2区間		1区間		今回	
	最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低	最高	最低
4区間	55	0	55	0	55	0	55	0	55	0
3区間	55	0	55	0	55	0	55	0	55	0
2区間	55	0	55	0	55	0	55	0	55	0
1区間	55	0	55	0	55	0	55	0	55	0
今回	55	0	55	0	55	0	55	0	55	0

TMS – デジタルサイネージ



< レシップによるバスでのデジタルサイネージ事業 >

2010年10月にLECIPと岐阜新聞社の出資により岐阜DS管理(株)を立ち上げ、デジタルサイネージのパイロット事業を岐阜地区でスタート。

無線LANにより、車内でCMやニュースをリアルタイムで更新。

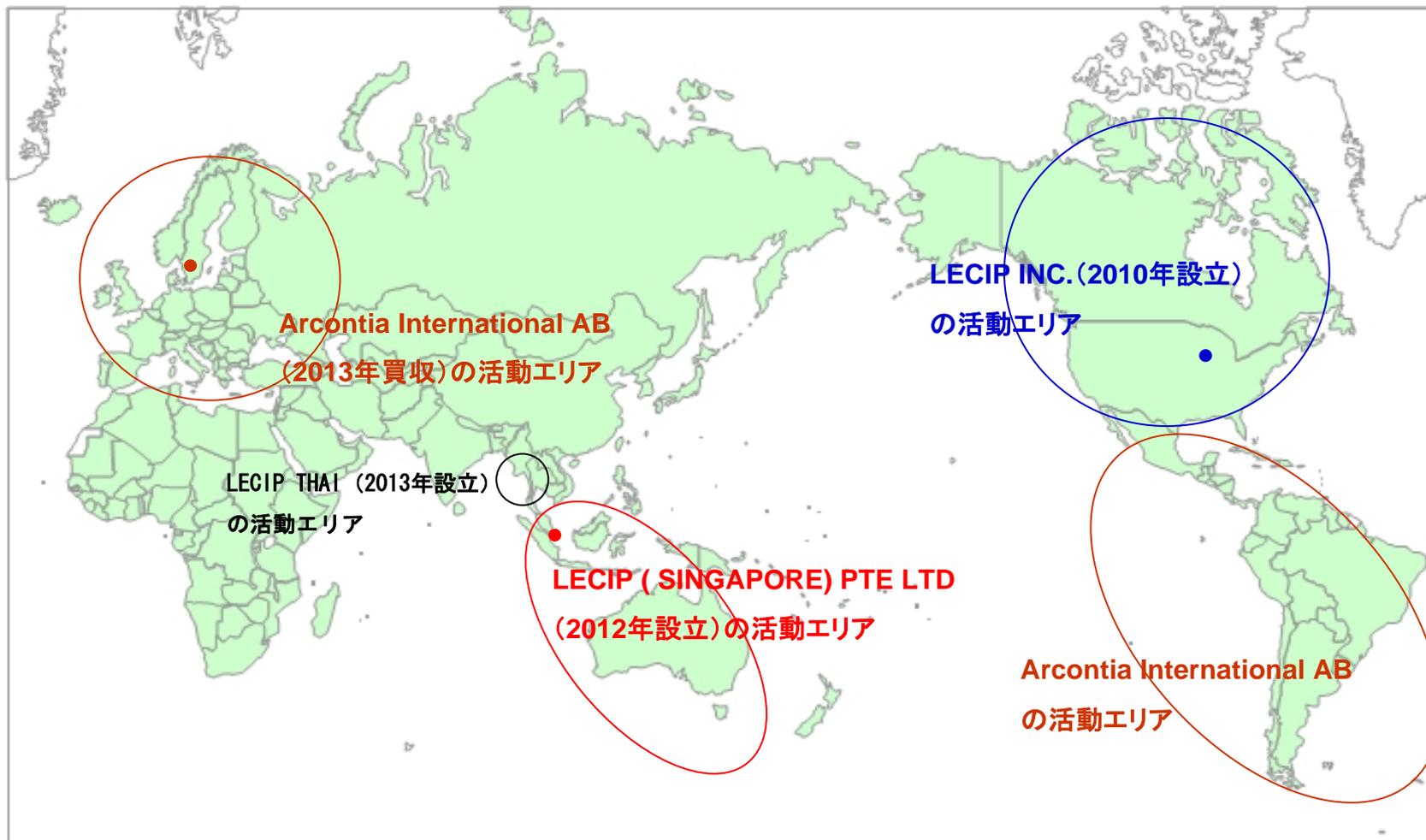
2013年10月現在では、神奈川地区、兵庫地区、広島地区等へ展開。 今後もさらに拡大見通し。



1. TMS(Transit Management System)

2. 海外展開

LECIPグループが提供する高付加価値品の需要があるエリアをカバー



TMSと海外展開

海外展開 – 北米市場



当社製運賃收受システムを納入予定の
カリフォルニア州サンタモニカ市交通局様
のバス

市場規模

路線バス 約81,000台(日本は約58,000台)

当社実績

2012年に日本企業として初めて落札 → 今期納入予定

米国・カリフォルニア州・サンタモニカ市交通局様(US\$ 約7.2M)

米国・ケンタッキー州・リバーシティ交通局様(US\$ 約4.1M)

米国仕様の運賃箱



日本仕様との違い

- ・両替機能なし
- ・頑丈
- ・無線による運賃データの取得

当社製の強み

- ・硬貨一括投入が可能
- ・大型カラーLCD
- ・紙幣のバイパス機構

(ご参考)国内向け運賃箱



(北米市場でのポイント)

**入札で求められる「実績」を武器に、
北米でさらなる拡販を進める**

TMSと海外展開

海外展開 - シンガポール市場

市場規模

路線バス 約4,000台 (日本は約58,000台)
(さらに800台の増産計画あり)

当社実績

- ・シンガポール市場へは30年以上の納入実績
- ・運賃箱、発券機のシェア100%
- ・その他、LED行先表示器、LED灯具の納入実績もあり
- ・TMSの2案件を受注し、今期中に納入予定



シンガポールにある2つのバス事業者様のうちのひとつ、SBS Transit 様のバス

(シンガポールの陸上交通局 (LTA: Land Transport Authority) 様より受注したトランスミッターのイメージ図)



(シンガポール市場でのポイント)

TMS案件の代替え需要を取り込み、シンガポールにおける事業基盤をより強固なものにする

海外展開 – 欧州・中南米市場

当社実績

※2013年8月に買収したArcontia International AB(AIAB)の実績

- ・世界のstandardであるA・Bタイプのバス・トラム向け非接触R/Wを、欧州及び中南米を中心に世界30カ国以上に納入
- ・欧州は、AIABのある本社スウェーデンを中心に活動し、中南米はメキシコ事務所を軸に活動



(欧州・中南米市場でのポイント)

グループのシナジー効果を最大限に発揮し、欧州・中南米でLECIP製AFC(運賃収受システム)、TMS(運行管理システム)の拡販につなげる

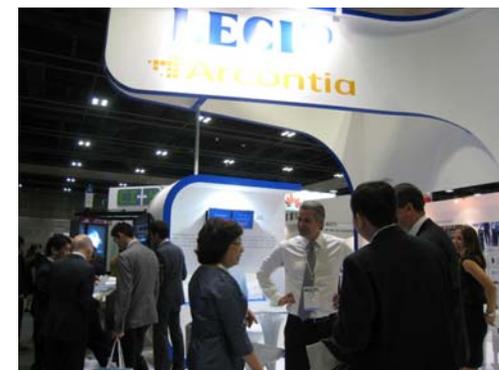
スウェーデン王国イエテボリ市にある
AIABの事務所

<http://www.arcontia.se/>



SITCE2013 (LTA-UITP Singapore International Transport Congress & Exhibition)に出展。

・'13/10/7～10にかけてシンガポールで開催された国際的な公共交通関連製品の展示会に出展



※ **APTA** (American Public Transportation Association) EXPO にも継続出展

・米国国内で3年に1度行われる米国公共交通協会主催の展示会にも5年前より出展(2008, 2011年)

世界各国の事業者様、メーカー各社とのリレーシヨンを構築

4. 補足

会社名	: レシップホールディングス株式会社 (LECIP HOLDINGS CORPORATION)
設立	: 1953年3月
代表者	: 代表取締役社長 杉本 眞
本社所在地	: 岐阜県本巣市上保1260番地の2
連結従業員数	: 476名
資本金	: 7億3,564万円
発行済株式総数	: 6,399,100株
上場証券取引所	: 東京証券取引所市場第2部、名古屋証券取引所市場第2部
証券コード	: 7213
連結子会社	: 9社

主な経営指標の推移

(単位:百万円)

	05年3月期	06年3月期	07年3月期	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期 予想
売上高	16,346	17,233	17,572	18,511	16,933	13,585	12,551	13,059	13,480	15,100
営業利益	1,122	1,089	1,189	1,232	1,070	29	121	493	477	380
営業利益率(%)	(6.9)	(6.3)	(6.8)	(6.7)	(6.3)	(0.2)	(1.0)	(3.8)	(3.5)	(2.5)
経常利益	1,124	1,086	1,191	1,208	1,104	64	154	514	526	400
経常利益率(%)	(6.9)	(6.3)	(6.8)	(6.5)	(6.5)	(0.5)	(1.2)	(3.9)	(3.9)	(2.6)
当期純利益	654	622	668	686	521	41	46	132	292	230
当期純利益率(%)	(4.0)	(3.6)	(3.8)	(3.7)	(3.1)	(0.3)	(0.4)	(1.0)	(2.2)	(1.5)
総資産	10,529	10,512	11,533	11,470	10,417	10,521	9,698	10,347	9,791	—
純資産	2,519	3,895	4,408	4,995	5,339	5,289	5,275	5,308	4,755	—
自己資本比率(%)	23.9	37.1	38.2	43.5	51.2	50.3	54.4	51.3	48.6	—
EPS(円)	107.70	96.29	104.68	107.38	81.61	6.55	7.34	20.80	46.85	42.43
ROE(%)	29.7	19.4	16.1	14.6	10.1	0.8	0.9	2.5	5.8	—
BPS(円)	441.66	599.65	689.82	781.66	835.49	827.65	825.60	830.76	877.37	—

LECIP GROUP

【資料お問合せ先】

レシップホールディングス株式会社

経営企画室

電話番号 : (058) 323-7647

(将来予測について)

本資料のうち業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。